



第14回NCLセミナー

「創造する脳～ストレスを上手に活用する」

I部： 講演「一寸の虫から学ぶ人の身の丈」

長尾 隆司 氏 (金沢工業大学 バイオ・化学部 応用バイオ学科 教授)

II部： 講演「細胞はストレスを感じ、記憶し、克服して成長する」

曾我部 正博 氏 (名古屋大学大学院 医学系研究科メカノバイオロジー・ラボ 特任教授)

●開催趣旨：

三四半世紀ほど前に誕生したストレスという言葉は、今では私たちが毎日のように口にするほど身近なものになっています。しかしその捉え方は様々に拡散しており、日常生活で経験する苦労や試練そのものを指す場合や、その際に感じる身体的あるいは精神的な不快感、さらにはそれらが蓄積し負担となった状態にまで使われるようになっていきます。

悪者とされているストレスとは一体何か。ストレス反応を示すしくみがなぜ私たちの体の中に備わっているのか。今回は「ストレス」そのものを生物学の立場から見つめ直し、新しいストレスへの関わり方について皆さまと考えてみたいと思います。

まず、金沢工業大学の長尾隆司氏より、厳しい環境の中を生き抜いてきた生命の進化の歴史という視点から、生物が獲得したストレス反応について話していただき、快や楽を求める人類への警鐘とともにストレスを味方につけるコツについてご紹介いただきます。

次に、名古屋大学の曾我部正博氏からは、ストレスに対して細胞はどのような反応を示すのかについて分子レベルでの話題を提供していただき、適度なストレスは細胞にストレス耐性をもたらす、結果として私たちに有利にはたらくことをご紹介いただきます。

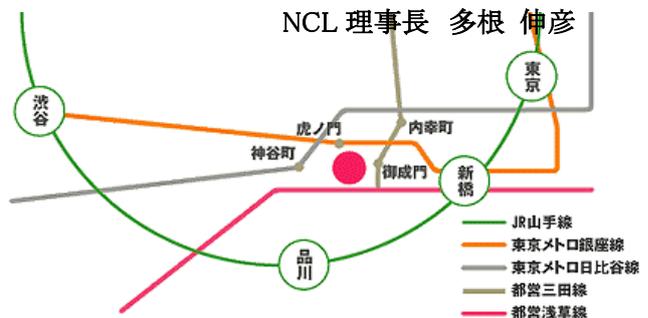
最後のクリエイティブディスカッションでは、適度なストレスは免疫力を高め、さらには問題解決や創造性の発揮に役立ち、新しい自分を引き出してくれる・・・そんな「ストレスを上手に活用する」方法を探っていききたいと思います。

●日時： 2014年8月21日(木) 13:00～17:00

●場所： 金沢工業大学 東京虎ノ門キャンパス
(東京都港区愛宕1-3-4 愛宕東洋ビル13階)

●参加： 一般及び会員 80名(参加費無料)

●講演者：



長尾 隆司 (ながお たかし)

大阪大学基礎工学部生物工学科卒業。博士(理学)。北海道大学理学部 教務職技官、同大学生物実験センター助手、助教を経て、1994年金沢工業大学助教授就任。2000年同教授現在に至る。1994年～1997年科学技術振興事業団「さきがけ研究21-『知と構成』領域」研究員兼務。



曾我部 正博 (そかべ まさひろ)

大阪大学基礎工学部生物工学科卒。同人間科学部助手、名古屋大学医学部 生理学講座講師、助教授を経て、1992年同教授。2013年より同名誉/特任教授、シンガポール国立大学客員教授。この間 JST・ICORP/SORST「細胞力覚」プロジェクト統括(兼：2000-10)生理学研究教授(併：2003-9)。



●プログラム： 13:00 開会にあたって (NCL発起人 多根弘師)

13:15 【第I部】講演「一寸の虫から学ぶ人の身の丈」長尾 隆司 氏

14:30 <休憩>

14:45 【第II部】講演「細胞はストレスを感じ、記憶し、克服して成長する」曾我部 正博 氏

16:00 【第III部】「クリエイティブ・ディスカッション」(NCL副理事長 鈴木良次)

16:50 閉会にあたって (NCL理事長 多根伸彦)

<17:00 終了予定>

●参加申込み： 参加ご希望の方は、参加申込書にご記入のうえ、メールまたはFAXにてお申込みください。または、当会ホームページからもお申し込みいただけます。

●お問い合わせ： NPO法人ニューロクリアティブ研究会 セミナー事務局

〒108-0075 東京都港区港南4丁目1番8号 株式会社 三城ホールディングス内

TEL 03-5781-6049 FAX 03-5781-6041 hp: <http://www.neurocreative.org/jp/>

以上